

第8回 江府町義務教育学校設置準備委員会【議事録】

<概要記録>

■期日：令和2年12月14日（月）

■時間：19：30～21：00

■場所：防災・情報センター 2階 研修室

<会議出席者>

【委員】手島委員長、谷田副委員長、井上委員、中田委員、河上委員、宮本委員、川上委員、稲田委員、山川委員、北村委員、梅林委員、瀬尾委員、竹内委員

【事務局】富田教育長、加藤課長、景山学事担当課長、

1 開会

委員長挨拶

お疲れのところ、また足元の悪い中参集いただきありがとうございます。前回は、話を念入りにしていただき、（校歌の候補も）絞っていただいた。その中で検討していけたらと思っている。校章・校歌ともに今日で決めていけたらと思う。いよいよ大詰めになってきたので、よろしくをお願いします。

2 報告

○保護者・学校の取組状況（小中校長）

瀬尾委員 次回の制服検討委員会は1月12日に開催予定。小中学生からアンケートをとり、何年生からどういう制服がいいのかを検討していく。

竹内委員 12月17日に、PTAの代表者が集まってPTA組織について検討する予定。

3 協議

（1）校章選定

事務局 前回、選定していただいた作品に「KOFU」の文字を入れるということと、文字・周り・大山の色を統一するということを応募者に依頼し、修正をしていただいた。これでよければ、これを校章にと思っている。

副委員長 よければ承認ということになるが、確認したいことはないか。

委員 周りの5角形の上と下で色が違っているようだが。

事務局 グラデーションではなく、同じ色ということで（修正）していただいている。コピーをした際にそのような色になってしまった。

委員 虹の部分が、今は虹色になっているが、最初は薄いブルーで日野川かなと思った。マチコミで保護者に意見を聞いたところ、この虹の色についてどうかという意見があった。自分もはじめの色でもいいのではと思った。そういう意見があったので伝えておく。

- 事務局 応募された際、虹について「希望の象徴、虹」という説明があった。最初は、こういう色（青、水色）だったが、この色では「KOFU」の文字が沈むということであった。
- 委員 ジャージは刺繍になると思うが、どのようなイメージか。
- 委員長 これからの話ではあるが、刺繍したものをつけてもらうということになるのではないか。直接刺繍することもできないわけではないかもしれない。
- 委員 葉っぱの色が元から変わっている。元は黄色（と緑）ではなく、黄緑と緑で落ち着きがある色だった。元の色にできないかと思う。
- 委員長 色を戻すことは依頼できるか。修正をしていただいた作品ではあるが、トータルで見て修正が必要なら直さなければならぬと思うが。
- 委員 前回選定した作品と色が異なっているように思う。
- 委員 虹については、最初のもの（青と水色）が、川がイメージできて日野川・ブナ・大山が江府のデザインでよいと思った。前は文字に焦点を当てた話し合いがなされ、色味については深く審議できていないのではないかと思う。虹は元のデザインがスッキリくるように思う。校章ができたときに、「あの時言っておけばよかった」と思いたくないので意見を言わせていただいた。
- 事務局 経緯を確認しておく。最初にこのデザインがよいということに決まったが、「KOFU」の文字が沈む（背景色と同系色）ので、どうするかということになった。話し合いの中で、全体のバランスを見ながら応募者の方に（アイデア）をお願いしようということになり、修正したものが前回（第7回）で見ていただいた作品。そこで、虹が虹色に変わっていった。葉っぱの色も、修正をお願いする中で、応募者の方が「この方がよいのでは」と思われて変更されたのかもしれない。応募者の方は、新しい学校ができるということについて（協力的な）思いを持って下さっているので、お願いすることは可能。なので、葉っぱの色は応募時の色に戻していただき、虹も「川」というイメージで青ということなら、「KOFU」の文字が沈まない青色に変える、ということはお願ひできると思う。限定した形で修正依頼をすることは可能だと思う。今の意見をもとに修正を加えていただき、その作品をみなさんに紙で送って確認いただくということで進めてはどうか。
- 委員 今、出されているものと修正を加えたものを比べて決めるのがよい。選択肢がある方がよい。
- 副委員長 修正を加えたものを確認するということがよいか、比べるということが必要か、意見をいただきたい。
- 委員 比べてみたい。文字と虹の重なる部分がどうなるのかも見てみたい。（虹と文字の色が）かぶって（文字が）弱くなるかもしれない。
- 委員 DAISENの「SEN」がアンバランスな感じがするが、文字はこの通りになるの

か。

- 事務局 基本は、このデザイン通りでと思っている。
- 副委員長 フォントについても（応募者に）確認していただくようお願いする。
- 委員長 今回修正をお願いしたら、これ以上の修正をお願いすることは難しいと思う。ここで意見を出していただき、修正したものから選択するということになると思う。
- 事務局 （募集要項上）「補作をする」と言っているので補作はして構わない。それを誰がするかということで、応募者の方をお願いしているのが今の流れ。応募された方は「虹」をイメージされたが、委員会として虹ではなく「川」をイメージした青に変えてほしいということになると思う。応募された方の思いはあると思うが、委員会の意向として「虹」ではなく「川」ということで補作を依頼するということが必要ではないだろうか。葉っぱについては、元々応募された色に戻すということなので、作品のオリジナリティについては問題ないのではないか。
- 委員 虹については、色が川っぽいと思ったが、作者が虹と思われるのならそれで構わないと思う。川の色だが、作者の「虹」という思いを否定するものではないと思う。
- 委員 見る人にとって変わるので、作者が「虹」と言っているので「虹」でいいのではないか。自分は、日野川をイメージしたので「川」と発言したが、それは自分の感じ方。ただ、デザイン的には（青の方が）すっきりする。
- 副委員長 校章なので、ここに描かれているものには意味があると思う。応募された方の思いを汲んで選定しているので、「虹」のイメージなのに「川でしよう」ということまで言う必要はない、虹や川ということではなく色合いについて検討したいという意見だと思う。青を基調としたものにするか、赤・黄・青のもの（※今回の修正作品）にするかという点では、元のものに戻した方がよいという意見が多かったように思うが。
- 委員 作者の思いは尊重されるべきものだと思うので、「川」に変えなくてもいいと思う。色合いはできてみないとわからない。虹なら 7 色ではないかとか思うし、前回の作品にも 5 色のものもある。デザインを見てみないと何とも言えない。葉っぱも黄色に変わっただけでイメージがガラッと変わる。トータルで作品として見てみないと判断できない。カラー版と青っぽいものの両方を見ながら話をしないと決められない。
- 委員 形はこれでいい。色はのせてもらって比べて見てみないと、色が変わるとどうなるかというのは想像できない。2つの作品を比べてみたい。
- 副委員長 修正を依頼し、できたものを見て選ぶという意見が多かったので、委員会を開いて選ぶことが必要だという意見が多いように思うが。

- 委員 デザインは、この場で初めて見るのではなく前もって配布していただき、事前に検討させていただく方がよい。
- 副委員長 事前配布していただくということでお願いします。修正はこれを最後にしなければならないと思う。いただいた作品から選定したら、決定ということでよいか。そのために、何点か用意していただき、事前に配ってもらい委員会で決定ということで。
- 委員長 意見を出していただき、デザイナーの人にお申し、作品が返ってきたらそこで決めてしまうという流れでいきたい。「元のものがよかった」ということがないようにしたい。デザイナーの方には大変だが、皆さんの要望があるからには手直しをしていただく。候補作品がたくさんあると目移りするので、2点示していただいて、次回の会に決定していただきたらと思う。
- 委員 作品を見てみないとなんとも言えない。決める前提ではあるが、見たらいろんな意見が出るかもしれない。
- 委員 (修正は) もう少し絞った形をお願いをしなくてはいけないが、修正された作品を見て議論はしなければならないと思う。
- 委員 デザインは、みなさんで決めたことなのでこれでいいということだと思う。後は色。
- 副委員長 選択肢は多い方がよいか。
- 委員 絞った形をお願いしないといけない。修正作品が、自分たちが意図したものと違うものになることもある。「葉っぱは元に戻しましょう。虹は寒色系に戻して、文字が消えないように」とお願いしないといけない。
- 副委員長 今のデザインは明るい色が多いので、少し暗い感じの色にした方がいいのではという意見が多い。色を寒色系にしていくという方向でよいか。比較として今回の作品も残しておく。
- 委員 修正を依頼する中で色が色々出てきてしまった。元に戻してもらえたら。
- 副委員長 カラフルなものと元にもどしたものの2つは候補として挙げていただく。さらに寒色系にしたものも用意してもらおうということでよいか。できれば、その中から決めていきたいが、長く使うものでもある。できるだけ出していただいもので決めていくということで準備を進めていただくでよいか。
- 事務局 葉っぱは今回のものと元のものと比べていただく。虹については、カラフルなものと元の青系の色にもどしたものと比べる。「K O F U」の文字が沈むようなら虹の色を少し変えてもらうということになるかと。
- 副委員長 基本的には、色合いを最初のものに戻していただく。選択肢があまり多くならないように。葉っぱは元に戻して、それに合うような虹の色を考えていただくということでよいか(特に意見なし)。では、委員会で協議して決定するというので、作品は事務局に前もって配布していただく。

(2) 校歌について

事務局 前回、5つの案が出された。それを楽譜にしたものを資料として準備した。歌詞をはめたとき、楽譜を今の江府中の校歌そのままにするのかということを考える必要があると感じた。前回の歌唱は、歌詞がうまく収まるかだけを考えたので、リズムは意識しなかった。しかし、準備委員会としてはできるだけ手を加えないようにして江府中の校歌を残していこうという意向を考えると、曲（リズム）もできるだけ変えない方がいいのだろうと思った。（資料の）5、6ページは前回歌唱したものではなく、原曲のリズムに合わせたものになっている。併せて、江府中の校歌は、前半後半の構成になっているという指摘を受けた。最初はゆったりしているが、後半はテンポがあがる。そのことがリズムに表れている。テンポが上がる後半にゆったりとした四分音符を刻むのは、作曲家の意図を汲んでいないのかもしれないと思い、できるだけ原曲のリズムに合わせて言葉をあてはめさせていただいている。そこも踏まえて検討いただきたい。

♪ (5曲歌唱) ♪

事務局 原曲のリズムに沿って歌うと、5・6ページの案は収まりが悪いと感じた。歌詞を変える、リズムを変えるということについて、音楽を専門にされる方からすると違和感があるのか。歌詞やリズムを変えるということが許されることなのか。自分は曲を変えることには抵抗はないが、音楽の専門家からすると一般的に許されることなのか。

教育長 音楽の専門家であっても人それぞれだとは思う。これまでの話し合いで、江府中の校歌は残したいが「江府中」という歌詞は新しい学校に合わない、代わりに新しい校歌を作ってしまうと江府中の校歌がなくなってしまう、江府中の校歌を残すにはどうしたらいいかという中で「江府中」のところを変えてはどうかという話になった。それが邪道かどうかは人それぞれだと思うが、草野心平さんは生前ある学校の校名が変わったとき、歌詞を変えることを承諾をされている。また、太田市の中高一貫校ができるときに、歌詞を変更することについて遺族の方に話をしたら「歌い継いでもらえることはありがたい」ということで、快諾をされたと聞いている。そう考えると、今私たちがやろうとしていることは、作られた方に対して失礼ということにはならないのではないかと思う。逆に歌い継いでいくことで喜んでいただけるのではないかと思う。

委員 それを前提に考えると、校歌を必要最小限変えることはいいのかなと思う。

出来上がった作品を一部でも変えると作品が変わるということがあるのではないかとも思うが、そのあたりはどうか。

- 教育長 江府中の校歌はゆっくり始まるが、「質実に～」からは躍動感がある。「ああ江府中」の部分は、細かいリズムではちきれんばかりの躍動感があって「光あふるる」で終わっている。3 ページは、同じリズムが繰り返され躍動感が感じられない。小山さんは、躍動感をつけるためにこだわってこのようなリズムにされたのではないかと。そう思うと、リズムはそのまま生かした方がいいのではないかと思う。「ああ」という言葉を大事にしたいという意見も踏まえて考えると、4 ページ、7 ページのものが自分としては違和感がない。
- 委員 曲を聴いたり、楽譜を見たりするだけではわからないので、そういう説明を入れていただかないと判断ができない。
- 委員長 曲は変えてはいけないのが原則。前回「ああ」が大事だという意見があったが、それが大事なことだと改めて感じた。音符をそのままにして、最小限の言葉を変えらるとなると、4 ページか 7 ページがいいのではないか。
- 委員 3 ページは「奥大山江府」という校名も入っているし、言葉もはまって歌いやすいと感じた。ただし、(3 ページは) 同じリズムが繰り返されている。「ああ江府中」を高らかに歌い上げるという意味では、リズムが変わるのも大事なこと。それを踏まえると 4 ページかなと思う。小学校では歌うのが少し難しいかもしれないが歌い慣れてくれば歌えるようになると思う。
- 副委員長 4 ページがいいということではどうか。
- 委員 3 ページは歌いやすいと思うが、音符を変えないということなら 4 ページになる。
- 委員 言葉のはめ方によっては、メロディやリズムを変えずに「奥大山江府」を入れることはできる。
- 委員 言葉をはめるということなら、「奥大山江府」でも「江府学園」でもいいが、前回歌を聞いたとき「ああ」という言葉が入ると学校生活を思い出せるように感じた。情景が浮かんだ。「ああ」は大事だと思う。「ああ」を残して曲を残すということがいいのではないかと思う。
- 副委員長 3, 4, 7 ページに絞れたと思うが。「ああ」に関してはどうか。
- 委員 校歌をそのまま残したいという意見もあったことも考えると、「ああ」があった方がいいと思う。
- 委員 リズムや音符を変えずに「奥大山江府」が音楽的におかしくなく入るなら、3 ページがよいと思う。
- 委員 曲を変えないということなら「ああ」は残した方がいい。
- 委員 3 ページは歌いやすいが、「ああ」に込められた思いが凝縮されるということと思うと「ああ」があった方がよいのでは。

委員 「ああ」を変えない（で歌詞を検討する）と、選ぶ言葉が限られる。

副委員長 （歌詞を変更する場合）最小限の変更でそこに敢えて意味を持たせないという事は前提としてあったと思う。最小限ということなら選ぶ言葉は限られてもいいのかもしれない。

委員 自分は「ああ」を残して「江府学園」でいいと思う。文字はたくさんあるようだが曲に載せたら歌えるのではないかと思った。4ページがいいと思う。

委員 自分も4ページがよいと思う。

副委員長 それぞれに聞いたみたい。

委員 4

委員 7

委員 3

委員 4

委員 3・4・7

委員 4

委員 4

委員 4

委員 4

委員 4

委員 4

委員 4

副委員長 4

委員長 4

副委員長 皆さんの意見では4ページが多かった。音楽的にどうなのかという点について聞いていただくとして、今日の段階では4ページでよいか。事務局はどうか。

事務局 曲（リズム）を生かす、「ああ」を残すということで、委員会の総意として4ページということなら、これ以上何かを加えるという想定はない。ほかに何か変えるということは考えにくいと思うので、これを委員会の案としていただければと思う。

副委員長 委員会として4ページを案とすることでよいか。

委員 それでよいが、4ページになったことについてきっちりした説明をつけていただきたい。（他校の校歌について）草野さんが歌詞を変えることについて承諾したという経緯も資料があれば納得できる。太田市の件で遺族のみなさんも納得されたということや、音楽的な点からリズムはこうでなくてはいけない、「ああ」は残さなくてはいけないといったことを文章で書いていただきたい。ここで議論されたことも含めてまとめたものがあれば、校歌を変えたことについて住民のみなさんに説明できる。

- 委員 子ども達へ説明する際も、こういう理由でこういう校歌になったということを伝えることで、納得しながら練習もできると思う。
- 副委員長 遺族の方に話す場合も、案を持って話す必要があると思う。その上で決まれば、何らかの形で報告ということになると思う。その点で（現時点では）正式に決定というわけではないが、委員の言われたのは経緯を説明してほしいということか。
- 委員 そうだ。委員で出ていれば経緯はわかるが、そうでなければなぜ江府中の校歌なのかということもある。加えて音楽の専門家からしてもおかしくはないということも示していただければ、みなさんに納得してもらえと思う。
- 副委員長 みなさんに知らせるのは遺族の方の了承を得てからになるのではないかとと思うが。
- 委員 この会のことは情報として出る（公開される）。（正式決定ではなくても）情報を伝えることは必要。
- 委員長 今日出た意見をまとめれば、きちんとしたものができると思う。そのまとめがあれば、どこに持って行っても説明できると思う。
- 事務局 遺族の方に説明をする前に、委員会としてこのような経緯でこのような校歌になったということをまとめることになる。それをもって、遺族の方にお話することになると思う。校章を次回検討いただく予定なので、その時に、この校歌に至った理由や経緯をまとめたものを見ていただき、住民のみなさんや遺族の方にそのように説明するということを確認いただくことで、委員会としての結論ということにしていいただければ。
- 委員 教育長の説明で「ああ江府中」が大事なんだということがよくわかった。そういうところをきちんとまとめていただきたい。
- 副委員長 そのような形で進めていただきたい。

4 その他

※第9回の期日について協議

5 閉会

- 委員長 慎重審議いただきありがとうございました。校章も決まりかけ、校歌もご意向もふまえて決まった。ありがとうございました。
- 副委員長 お疲れさまでした。

○第9回委員会

- ① 日時：令和3年1月8日（金） 19：30～
- ② 場所：江府町防災・情報センター 2階情報研修室